



日本大学文理学部国文学科
日本語基礎演習2

漫画における方言の扱われ方



0313014 柏原大志
0313056 榎本拓朗

■ 6.1目的

方言漫画における方言一貫キャラと方言スイッチキャラの違いが出るのかを調べる。

■ 6.2.調査概要

- ・2004年から2014年10月までの10年間に出了マンガの中で四作品。
- ・担当: 榎本『君のいる町』『坂道のアポロン』(方言一貫キャラ) / 柏原『ばらかもん』『銀の匙』(方言スイッチキャラ)
- ・1巻から3巻。名前のあるキャラのリストを作り、その中で作品舞台と同じ方言を話す主要キャラを各作品からそれぞれ担当したキャラタイプを対象として調査。
- ・セリフリストを作り、喜怒哀楽は、「喜」は喜んでいる(嬉しい)とき、「怒」は怒っているとき、「哀」は悲しんでいる(泣いている)とき、「美」は美しいとき、「その他」とする。その他は喜怒哀楽に含まれない、含めないと判断したものとする。
- ・方言ステレオタイプと見比べる。

[参考文献]

田中ゆかり (2011).『「方言コスプレ」の時代—ニセ関西弁から龍馬語まで』岩波書店

・調査データのキャラクターリストやセリフリストを方言一貫キャラ・方言スイッチキャラを中心に注目して比較分析。

6.2.1.調査対象作品

表1.調査対象作品

作品	作者	作者出身地	掲載雑誌	掲載年	舞台	属性	備考
ばらかもん	ヨシサキ	長崎県・五島列島	ガンバード	2008年-2009年	長崎県・五島列島	ハートフル日常系コメディ	掲載雑誌の変遷のみ。作登内容等の変化・変更なし
司上	司上	司上	ガガオンライン	2009年-	司上	司上	
司上	司上	司上	月刊少年ガガノン	2014年-	司上	司上	
銀の匙 Silver Spoon	寺川弘	北海道	週刊少年サンデー	2011年-	北海道	恋愛青春グラフィティ	
君のいる町	鶴尾公治	広島県・庄原市	週刊少年マガジン	2008年-2014年	広島県・庄原市	青春ラブストーリー	
坂道のアポロン	小玉ユキ	長崎県・佐世保市	月刊ブワーズ	2007年-2012年	長崎県・佐世保市	青春群像劇	

分析作品の属性について、キャラの分け方について

[参考サイト]

- 『ばらかもん』 <http://www.ganganonline.com/comic/barakamon/> (最終閲覧: 2015/01/21)
- 『銀の匙-Silver Spoon-』 <http://www.shogakukan.co.jp/pr/ginsai/story.html> (同上)
- 『君のいる町』 <http://www.kiminourumachi.com/story/00.html> (同上)
- 『坂道のアポロン』 <http://www.noitamina-apollon.com/02story/index.html> (同上)

⇒ 6.3.方言一貫キャラのステレオタイプの比較・分析 (榎本拓朗)

⇒ 6.4.方言スイッチキャラクターの比較・分析 (柏原大志)

■ 6.5.班全体のまとめ

方言一貫キャラでは感情的であっても方言を様々な場面で使っているが、方言スイッチキャラでは特に怒った時に方言が使われていて、より感情的になった時にでてくることが改めて分かった。しかし、調査前の見込みとは違い、方言スイッチキャラ全般が感情に左右されて方言を使うわけではなく、作者によるキャラの個性を立たせる意図が大きいのだと思われる。また若いキャラ、学生のキャラよりも大人のキャラが特に方言を一貫して話す傾向にあることがデータを通して分かった。

引用文献リスト

- 井上史雄 (1977). 方言イメージの多变量解析 (上) 言語生活, 311, 82-91 筑摩書房
- 井上史雄 (1977). 方言イメージの多变量解析 (下) 言語生活, 312, 82-88 筑摩書房
- 井上史雄 (1980). 方言のイメージ 言語生活, 341, 48-56 筑摩書房
- 沖裕子 (1986). 方言イメージの形成 国文学, 63, 172-158 関西大学国文学会
- 神鳥武彦・高永茂 (1988). 方言に対する好悪の意識—「広島方言」に対する場合— 国文学研究, 120, 1-18 広島大学国語国文学会
- 金水敏 (2007). 言と文の日本語史 文学, 8 (6), 2-13 岩波書店
- 金水敏 (2003). ヴァーチャル日本語 役割語の謎 岩波書店
- 定延利之 (2006). ことばと発話キャラクター 文学, 7 (6), 117-129 岩波書店
- 田中ゆかり (2011). 「方言コスプレ」の時代—ニセ関西弁から龍馬語まで 岩波書店
- 田中ゆかり (2014). ヴァーチャル方言の3用法「打ちことば」を例として ひつじ研究叢書<言語編>, 122, 37-55 ひつじ書房
- 田中ゆかり (2014). 「方言」が価値をもつ時代—StigmaからPrestige、そして... 都市問題, 105 (8), 9-17 後藤・安田記念東京都市研究所
- 小野米一[ほか] (編) (1997). 日のことばシリーズ1 北海道のことば 明治書院
- 神鳥武彦[ほか] (編) (1998). 日のことばシリーズ34 広島県のことば 明治書院
- 坂口至・林田明 (編) (1998). 日のことばシリーズ42 長崎県のことば 明治書院

ページトップへ